

岡田正二 （たけだ まさじ） 哲學者。明治二十五年八月、二十日廣島縣生れ。昭和  
五十五年七月十八日歿（九〇二一〇）。

著書『漢文音讀論』（昭和七年十一月、二十五日京都・政経書院）、  
『詩經』（譯、昭和八年二月、二十日第一書房）、『老子心解』（昭和  
十一年九月十五日第一書房）、『京小田舎の』（合著・宮崎小次郎  
編、昭和十七年五月五日京都・見文社）、『ブートン全集』（譯、第  
二卷・昭和二十一年六月十五日、第四卷・八月二十日、第五卷・十一  
月二十五日、第七卷・二十二年一月二十日、第七卷・四月二十五日、  
第八卷・十月二十五日京都・全國書房）、『詩經・國風篇』（譯、昭  
和二十一年十一月二十日京都・全國書房）等。

